

中国語

第1 高等学校教科担当教員の意見・評価

1 前 文

令和4年度共通テストを以下の3点をよりどころに、また、報告書（本試験）14ページに記載の8つの観点によって、総合的に検討・評価に当たることにする。

- (1) 共通テストは「高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的としている」試験であるという観点に立ち、学習指導要領「外国語」の目標を重視する。

その際、大学教育の基礎力を踏まえ、また、高等学校において英語以外の外国語を初めて履修する者もいることを考慮し、問題作成を行う。

- (2) 教育現場からの「高等学校における学習の成果が総合的・客観的に判断できる出題」となっているかについて、従来からの「基本的要望」が尊重されているかを重視する。

① 細かすぎる難解な語法を問うことはせず、基本的な文法力を問うこと。

② 長文読解は、高校生になじみやすいテーマを選び、内容が抽象的すぎ、論理的に説明が難しいような出題は避けること。

③ リスニング試験が実施されないことを補うために、ピンインを重視して出題すること。

- (3) 令和3年度の問題作成部会の見解を参考とすること。

また、本試験と難易度の差が生じないように作成をお願いしたい。

2 内容・範囲

第1問 本試験と同様の形式で、発音の基礎を確認する問題である。

第1問	A	B	C	D
計9問	声母	韻母	声調	ピンインによる会話
(計36点)	8点(4点×2問)	8点(4点×2問)	8点(4点×2問)	12点(4点×3問)

昨年に引き続き、今年度も4点×9問、計36点の配点である。

- A 昨年同様、見出し語の下線部の声母（子音）と同じものが選択肢の中にいくつあるかを選ぶ形式であった。提示された語句はみな重要語である。

問1 “j”と“zh”の判別問題で、見出し語も選択肢も重要語であり、適切である。

問2 “k”と“g”の有気音と無気音の判別問題であり、適切な設問である。

- B 例年どおり、韻母（母音）に関する出題である。

問1 “ing”と“in”の鼻韻母を問うもので、見出し語も選択肢も重要語であり適切である。

問2 “ei”と“ui”の判別問題であるが、“uai”を混ぜるなどの工夫も考えられる。

- C 見出し語と声調の組合せが同じものの数を問う問題である。声調以外に、選択肢の単語に鼻濁音、卷舌音、有気音、無気音などが含まれ、適切である。

問1 見出し語“体积”も選択肢もみな重要語であり、適切である。

問2 見出し語も選択肢も重要語であり、適切である。

- D 昨年度と同じく、会話文の流れで適切な文を選ぶ問題。選択肢ともにピンインで示してあり、ピンイン学習を重視するとともにコミュニケーションを考えさせる出題であり評価できる。

問1 会話文，選択肢共に難解な語句はなく，可能補語“～不过来”や接続詞“要不”等の理解を試す良問である。

問2 会話文，選択肢共に難解な語句はなく，“直接的”に対応する“换车”を読み取れているかを見る良問である。

問3 会話文，選択肢共に難解な語句はないが，副詞“倒”の用法は高等学校からの学習者にはやや難解であるが，“你让我去”は読み取れるので，前後関係を考えさせる適切な問題である。

第2問 空欄補充の問題で選択肢の類義語から適当なものを選ぶ問題。

A 適当なものを選ぶ空欄補充の問題。類義語の知識が要求される。選択肢は重要語である。

問1は，文の「想像する，思う」に合う動詞を選択する問題で，単語の用法の理解を確認する良問である。

問2は，「もらう」に合う動詞を選択する問題で，適切である。

問3は，「行ってすぐに」という意味に合う副詞を見分ける問題で，単語の用法の理解を見る良問である。

B 類義語を問う問題。「適当でないもの」を選ぶという設問形式は難度が高くなるが，選択肢に難解な語句はなく，いずれも重要語である。

問1は“给作业”とは言わず，“给～留作业”となる。動詞と目的語の組合せを確認する適切な問題である。

問2は“条件”の述語の理解を確認する良問である。

問3は文の前後のつながりと選択肢の語句の意味を問う適切な問題である。

C 短文に適語を8つの選択肢から2つ選ぶもので，“美好的～”に繋がる語句としては，慣用的な表現であり，“感激”“刺激”の違いなど基礎的な理解を見る適切な問題である。

第3問 和文中訳，中文和訳を通して，中国語の表現力，理解力を測る問題である。

A 和文中訳問題で，与えられた8つの単語から4つ選び並び替えるもので，選択肢の語句も重要語の範囲内であり，文法や語句の用法の理解を確認する問題として適切である。

問1 語句に難解なものはなく，“よもや”にあたる中国語表現や“以为”の用法，“～不下”の可能補語の理解を試す良問である。

問2 副詞“总”の用法の理解と二者の疑問で“谁”を使用することなどを問うもので，適切である。

問3 “让”や“～得见”の文法知識と反語を組み合わせた表現を考えさせる良問である。

B 和文中訳の問題で，選択肢の中国語文はピンインで示され，口語的な表現や基本的な文型の理解を問う問題である。

問1 難解な語句はなく，“にぎわいをとりもどしている”という意を“又像以前那样热闹了”で表現していることが理解できるかを問う良問である。

問2 “顺便”は重要語であり「帰りがけに」を意味することを考えさせることは適切であるが，“会”の習慣を示す用法は研究もまだ少なく，一考を要する。

C 中文和訳の問題で，問いの文の中国語はピンイン表記である。

問1 経験相の否定を強調した中文の意味の理解を問い，日本語と中国語の訳に乖離がなく適切である。

問2 “得有”，“第一步”，“～起来”など基本的な語を使った表現であり，適切な設問である。

第4問 本試験と同様の出題形式で，Aの「図・文章・会話文・表」，Bの「文章・グラフ・会

話文・表」のそれぞれ3～4つの言語材料から総合的に判断する融合問題である。

A 水族館の案内図にはそれぞれの動物の名前の日本語が記されている点が評価できる。パフォーマンス紹介文の理解も高まり、問2・問3への設問の流れも自然である。

問1 水族館の案内図とイベントの紹介文を読み取り、その内容について適当でないものを日本語文の選択肢から選ぶもので、内容理解の設問としてやや易しいと感じるが、文章量が増加したことを考慮すると適切である。

問2 (1)子どもチケットの購入基準の違いを述べた会話文で、私と妹の関係性及び文章の流れを確認する適切な問題である。(2)空欄補充問題で、購入基準に対するそれぞれの考えの理解を問う適切な問題である。

問3 空欄補充問題で、丁寧に読み進めた上で表と関連付けて考える良問である。

B 若者の海外旅行の実態を文章とグラフから時代の推移を読み取る設問である。

問1 文章からグラフを読み取り、その内容理解を中国語で確認する良問である。

問2 (1)二人の旅行企画プランを読み取り、その違いを問うもので、アの“経済省省”を含む選択肢をもう一つ増やすなど選択肢に一考を要する。(2)“这”の指示内容を問うもので文章の前後関係の理解を図る適切な問題である。

問3 問2の流れから、二人が作成した企画書を見て、その内容理解を中国語文から図るもので、良問である。

第5問 読書とウォーキングについての評論文の読解問題である。

問1 “不可能丰富多彩”と同意義の表現を考える、内容把握の有無、思考力を問う良問である。

問2 “这是不对的”が入るべき空欄を答える設問。文章の流れを理解しているかを試す適切な設問である。

問3 副詞の呼応、前後の文のつながりを考えさせる、適切な問題である。

問4 文章中の下線部の意味する日本語文を選ぶ問題。文章の理解を踏まえた上で“表現”の用法も確認する適切な問題である。

問5 指示語の示す内容を問う問題で、適切な問題である。

問6 空欄に入るべき文を選ぶ問題。段落のつながりや後の文との関係の理解を問う適切な設問である。

問7 介詞や兼語文を作る動詞の総合的な理解を問う設問となっており良問と言える。

問8 “以～作～”や“拿～作～”の語法、“有”を用いた構文など多角度から文法的理解を見る設問で適切である。

問9 最終段落の最後の文の空欄に入る語句を選択する問題である。該当箇所付近だけでなく、文章全体の論旨を捉え考える必要があり、適切な設問である。

問10 選択肢に紛らわしい日本語はなく、本文の内容理解を見る適切な問題である。

3 分量・程度

(1) 分量

今年度は第5問の量は33文字×32行(問題箇所・句読点・改行含む)であり、昨年度共通テスト(2)の33字×24行から、大きく増えた。より速く読み内容を把握する必要がある。文の文字数は900字以上で、適切な分量である。文章中に難解な単語もなく高校生にとって適切な問題である。第4問も資料や会話、文章が多くなり全体としては読む力がより求められる。

(2) 程度

本試験同様、追・再試験の設問は、高校生にとって抽象的すぎず難解なレベルのものも多くな
く、適切な出題であった。第4問、第5問の長文も本試験と同様のレベルであり、正確な読解力
を測る適切な文章であった。

4 表現・形式

本試験と同じ形式と配分であり、表現、形式も適切である。配点が違う部分があり、本試験の
マーク **32**・**33** の配点を追・再試験の **34**・**35** と合わせて5点配点にし、追・再試験の
36・**37** を4点配点にするのが妥当かと思われる。

内容	発音・ピンイン	語句	表現力	複合的な資料の読み取り	長文読解
設問	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問
設問数	9	7	7	8	10
配点	36点	32点	28点	52点	52点

5 要 約

令和4年度追・再試験の問題は、設問形式やその内容において、また単語の選択も高校生レベ
ルの出題が多く、高等学校から中国語を学び始めた受験者を意識した出題者の工夫が感じられた。
難易度も適切であった。

今後とも「高等学校における学習の成果が総合的・客観的に判断できる出題」であることを大
前提として、本試験と同レベルの問題作成に当たっていただくことを希望する。

各設問を総合的に見て高等学校3年間で学ぶ中国語のレベルに近付いてきたと考えられる。そ
うした中で思考力・判断力・表現力等を総合的に問う問題形式が見られ、評価できる。

受験者数は微減であるが、外国語の受験状況の割合としては変わっておらず、外国語における
中国語科目の社会的なニーズの高まりを示していると考えられる。今後も共通テストの科目とし
て有効に活用されることを希望する。全体としては概ね適切な問題だったが、今後の出題として
以下の点にご考慮いただきたい。

- ・今年度高得点だった設問を次年度に難易度を極端に上げないようにしていただきたい。
- ・第1問の単語の知識を問う問題では、日頃学んでいる見慣れた単語を選んでいただきたい。
- ・第4問については図表等を効果的に使った作問を期待したい。第5問の文章量は、設問の難易
度とのバランスを考慮していただきたい。内容が抽象的すぎないような配慮をお願いしたい。
- ・高等学校から中国語学習を始めた生徒たちが「是非受験したい」と思う出題をお願いしたい。
- ・今年度の報告書に即して、高等学校における学習の成果が総合的・客観的に判断できる出題を
今後ともお願いしたい。